

副市長レビュー（春）調書

1 部局名 (課名)	産業部 (エネルギー政策課)	
2 協議事項 (案件名)	2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロ（浜松市域“RE100”）の実現に向けた市としての取組みについて	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜松市エネルギービジョン」を改訂し、これまでの 2030 年度の電力自給率を 20.3%から 30.6%に上方修正 ・2050 年までの CO₂ 排出実質ゼロを目指し、浜松市域“RE100”の実現を宣言 ・「再生可能エネルギーの導入・利用拡大」を戦略の 3 本柱の一つとして掲げた。 	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市域“RE100”の実現には、オール浜松で取組む必要がある。 ・2032 年以降、市内でも卒 FIT を迎える事業用太陽光発電設備の大量発生が見込まれ、これを地産再生可能エネルギー電源（以下、地産 RE100 電源という）として地消につなげる環境整備が必要である。 ・一事業所である市としても地産 RE100 電源利用等、率先垂範し、その取り組みを市内全域へ展開していく必要がある。 ・地産 RE100 電源の利用拡大には、一定の費用負担が生じることから、最小の経費で最大の効果を上げる必要がある。 	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<p>2050 年に向け、全庁的な共通取組事項として、すべての公共施設へ地産 RE100 電源の利用拡大を進め、市内卒 FIT 電源の地消モデルの構築を目指す。</p> <p>【～2030】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設及び未利用市有地等への再エネ設備導入による拡大 ・市内の民間再エネ事業等からの地産 RE100 電源確保・拡大 <p>【2030～2050】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内卒 FIT 由来の地産 RE100 電源の活用による更なる公共施設への導入拡大 ・市内卒 FIT 由来の地産 RE100 電源の市域内企業等への普及 	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への地産 RE100 電源導入拡大に向けた取組み（令和 2 年度） <ul style="list-style-type: none"> →設備及び電源の導入対象施設、スケジュール等を定めたロードマップの策定 来年度から順次実施 →全庁的運用として電力調達に関するガイドライン策定、来年度より段階的に実施 ・(株)浜松新電力との連携強化 	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>令和 2 年 3 月に表明した RE100 を踏まえ、具体的な施策を検討する。</p>
7 その他	市全庁的な取組みとして環境政策課等の関係課との連携が必要	